

「心をかたちに」～言葉と行動、思いやりと支え合い～



# 緑野

札幌中学校学校だより  
令和6年度入学式号(481号)  
令和6年(2024年)  
4月9日発行



<http://www.satsunae-j.sapporo-c.ed.jp>

## 入学式 式辞

令和6年4月9日

札幌市立札幌中学校長 鈴木 伸和

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。

ただいまここに、157名の皆さんを、札幌中学校に迎え、新しいスタートを切りました。

皆さんの入学を、私たちは、心より歓迎いたします。

保護者の皆様におかれましては、お子様の本校への御入学、本当におめでとうございます。

さて、新入生の皆さんは、これから本校での3年間の学びが始まりますが、入学にあたり三つのことについてお話ししたいと思います。

一つ目です。中学校での学びの主役は生徒の皆さんです。先生方は、そんな皆さんの声を聴き、背中を押して応援します。ですから、いろいろなことに積極的に挑戦してほしいと思います。時にはうまくいかなかったり失敗したりするかもしれませんが、失敗したらどうしようとやる前からしり込みしてしまうかもしれません。そして、私たちは失敗を避けようとしません。失敗すると落ち込みます。

しかし、世の中のものは、そのほとんどが失敗の上に成り立っています。逆に言えば、失敗があったからこそ、成功があると言ってもよいと思います。あの失敗がなければ今がなかったかもしれない、という方も結構います。失敗は恥ずかしいことではありません。大切なことは、失敗したら、そこから学ぶということです。その学びが大切です。

二つ目です。中学校の学習で大切にしてほしいことがあります。これまで皆さんは「なぜ?」と思ったことがたくさんあると思います。そう思ったとき、どうしていましたか。中学校では、自分が興味をもった内容に対して、じっくり向き合ったり、話し合ったりしながら、その「なぜ」を解決していきます。本校では、基礎基本の定着に努めながら、その課題の解決に必要な学ぶ力を、自分で身に付けること大切にしていきます。

三つ目です。札幌中には、「心をかたちに 言葉と行動 思いやりと支え合い」というキーワードがあります。

私たちの心には、「自分だけが良ければいい」と考える自己中心的(利己)な心と、「自分を犠牲にして他の人を助けよう」とする思いやり(利他)の心があります。

自己中心的な心で判断すると、自分のことしか考えていないので、誰の協力も得られません。自分中心ですから視野も狭くなり、間違った判断をしてしまいます。また、周囲から「わがままな奴だ」と距離を置かれるかもしれません。

一方、思いやりの心で判断すると「人にやさしく」という心ですから、まわりの人みんなが協力してくれます。また、視野も広がるので、正しい判断ができるのです。より良い生活をしていくためには、自分だけのことを考えて判断するのではなく、まわりの人のことを考え、思いやりにみちた心で判断することが大切です。

しかし、「人にやさしく」と考えて行動することは意外と難しいことです。なぜなら、せっかく人にやさしくしているのに、相手が全然そのことをわかってくれなかったり、感謝の言葉がなかったりすると残念な気持ちになります。また、自分が犠牲になることが含まれてくるとなおさら難しいと考えます。

札幌中のキーワードには、自己中心的にならず、思いやりの心を忘れず、感謝の気持ちを周りに伝え、生活してほしいという願いが込められているのではないかと考えます。

「心」をしっかりと、思いやりの気持ちで、言葉や行動という、「かたちに」にしてくれることを期待しています。

改めまして保護者の皆様、本日はお子様のご入学おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。今日から三年間、大切なお子様をこの札幌中学校でお預かりいたします。中学校時代は、思春期を迎えるお子様にとって、心が激しく揺れ動く多感な時期です。保護者の皆様と連絡を密にとり、お互いに連携し、そして地域と力を合わせながらお子様の力をしっかりと伸ばしていくよう職員一丸となって努めてまいります。本校の教育に対しご理解とご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

結びになりますが、新入生の皆さんが、この札幌の学び舎で、はつらつとした日々を送ることを願って式辞いたします。

# 歓迎の言葉

在校生代表 三国 海鈴

春の優しい風が通り抜け、桜の蕾が膨らみ始めました。

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんがこの札苗中学校へ来る今日の日を、私達も楽しみにしていました。

新しい制服の着心地はどうか？ 私達も最初はなんだか窮屈で、背伸びをしているような感じがありました。けれどこの制服は、札苗中学校の仲間である証です。今はなんだか着慣れない制服も、きっとすぐに馴染んでくれると思います。

私が中学校に入学したときは、部活や教科ごとに変わる先生方、初めて顔を合わせる仲間に出会うのが楽しみで、これから始まる中学校生活にワクワクしていました。

けれど中学校は、小学校とは大きく違い、ガラッと変わった環境や、それに対応し、周りについていくことが段々大変になり、自分よりも大人びて見える仲間たちを毎日必死に追いかけていました。

そんな中でも、できなかった問題を自分の力で解いたり、新しくできた仲間と協力して壁を乗り越えたりしたことで、達成感や成長を感じることができました。

皆さんはこれから中学生となり、新しい3年間が始まりますが、この札苗中学校で楽しみにしていることはなんですか？

部活、生徒会、行事など小学校では体験できなかったことがたくさん待っています。授業科目も増え、勉強も難しくなり、大変なことも多いかもしれません。ですが、その分やりがいも多いです。

もしも、これから迷ったときは、先生方や私達先輩に気軽に声をかけてください。一緒に考えましょう。そして、一緒に居心地の良い札苗中学校にしていきましょう。

皆さんの中学校生活が、実りある3年間になりますように心から願い、歓迎の言葉とさせていただきます。

# 誓いの言葉

新入生代表 青木 瑚々

雪解けのさわやかな季節となりました。

今日、私たち 157 名の新入生は、無事に札苗中学校の入学式を迎えることができました。

私たちは、3月に小学校を卒業しました。

そして、いよいよ始まる中学校生活に不安と緊張、喜びを感じながらこの日を迎えました。

中学校では、教科ごとに先生が変わったり、小学校より学習内容が増えたりすると聞いています。また、定期テストがあるなど、新しいことに対する不安があります。

しかし、新しい仲間が増えることや、合唱コンクールなどの行事、部活動があることなど、楽しみなことがたくさんあります。積極的に取り組んでいきたいと思っています。

これからの3年間でたくさんのことを学び、経験し、悔いのない中学校生活を送っていけるよう頑張ります。

どうぞ、先生方、先輩方、これからよろしくお願いいたします。

以上をもちまして、新入生代表の挨拶とさせていただきます。



## 1学年 学級担任・副担任

	1組	2組	3組	4組	5組	6組
担任	澤田 真紀子	青木 慎吾	木村 尚仁	川村 彩歌	窪田 範行	木谷 香代子
副担任	遠藤 稔大	工藤 将弘	遠藤 稔大	工藤 将弘	長尾 知明	谷口 由衣

## 教科担任

国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保体	技術・家庭	英語
木村・谷本	青木	大高・高橋	長尾	澤田	石見	大崎・遠藤	窪田・西林	川村・池田